令和４年度 事業報告書

（令和４年４月１日～令和５年３月 31 日）

Ⅰ　概　況

令和 4 年度も、新型コロナウィルス感染症の影響により、会議運営や事業運営に一定の制約を受けることとなった。このような状況のなか、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体であるとの理念の下、県内各単位会との連携協調を図り、事業活動においては事業の公益性を常に意識し、広く県民の皆様に向けた税知識の普及・啓蒙を図るとともに、税制に関する提言活動、税に関する広報事業、租税教育活動、等の法人会活動の原点である「税」に軸足をおいた各施策に取り組むことにより、新型コロナウィルス感染拡大の防止と社会経済活動との両立を図る中で、法人会としての社会的役割を果たすことができた。

組織基盤の強化については、社団化以降、一貫して減少が続いていた会員数が、初めて純増に転じ、55 社の会員増加という実績を上げることができた。

財政基盤の拡充に関しては、令和 3 年度と 4 年度の 2 年間にわたって実施された「福利厚生制度創設 50 周年キャンペーン」の推進において、協力 3 社との連携強化のもと、各単位会一丸となった取り組みが展開され目標達成率で全国第 3 位という素晴らしい成績を残すことができた。

Ⅱ　主な事業活動

１．税を巡る諸環境の整備改善等を図ることを目的とする事業

（１）　税制提言事業

① 税制改正への提言

6 月 2 日（木）に開催された税制委員会において、令和 5 年度税制改正に関する検討テーマに基づき協議、検討を行うとともに、各単位会で実施された税制改正アンケート調査結果に基づいて税制改正要望事項について取りまとめ、山口県連としての令和 5 年度税制改正提言事項を作成し全法連へ提出を行った。

② 提言活動の実施

9 月 22 日（木）に開催された全法連第 43 回理事会で決議された、「令和 5 年度税制改正に関する提言」の実現に向けて、県連と各単位会が一体となり、１１月から１２月にかけ地元選出の国会議員、県内の各自治体の首長等に対して県連・単位会の役員及び税制委員が提言活動を実施した。

（２）　広報事業

「税を考える週間」を中心に、広く県民の皆様に向けた税知識の普及、納税意識の高揚を図ることを目的に新聞広報、ラジオ広報、TV 広報（15 秒 CM、情報番組への出演よる広報活動）等の広報活動を実施した。

① 新聞広報の実施

「税を考える週間」に令和 5 年度税制改正に関する提言と法人会活動を紹介した広告を毎日新聞、読売新聞の 2 紙に掲載した。

② ラジオ広報の実施

各単位会から 9 名の方々に、山口放送、ＦＭ山口のラジオ番組に生出演していただき、広く県民の方々に向けた税に関する啓蒙とともに、それに係る法人会活動の関わり等について広報活動を行った。またラジオ番組内において「税金クイズ」を実施し県民の皆様から多数の応募をいただき、大変な好評を得ることが出来た。

また、国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会が主催する「税に関する作文」の県内

優秀作品５編を「税を考える週間」に山口放送のラジオ番組内でアナウンサーによる朗読を実施し、中学生、高校生の皆さんが感じている税のあり方を通じて広く一般の方々に対しての税に関する啓蒙活動を行った。

③ TV 広報の実施

柳井法人会並びに下関法人会より 2 名の方に KRY 山口放送の『熱血テレビ』と TYS テレビ山口の『ちぐまや家族 plus2』にご出演いただき、「絵はがきコンクール」と「税を考える週間」及び法人会の活動について PR をしていただいた。さらに KRY テレビでは『ナビスタ』と『熱血テレビ』の番組内でアナウンサーによる 60 秒原稿読みを実施した。また TYS テレビ山口では山口県連より全法連に提案し作成していただいた 15 秒 CM を 12 本放映し、法人会の PR を行った。

（３） 講演会事業

県連としての令和 4 年度の講演会事業の実施を計画していた、第 24 回「山口県青年の集い」防府大会では、東京 2020 パラリンピックの女子マラソン金メダリストの道下美里氏を講師にお迎えし記念講演会を開催した。

（４） 法人会支援事業

① 研修活動の充実

研修活動は、会員、非会員を問わず自己啓発を支援することを目的に法人会において極めて重要な事業であり、研修委員会を 3 月 24 日（金）に開催し、研修参加人員の増加、研修参加率の向上に向けた協議を行うとともに、これからの研修活動の展開について協議を行い、インターネットセミナーやオンライン会議の取組状況について報告いただいた。

県内各単位会では、新型コロナウィルスの影響により研修活動の展開が難しい状況のなか、インターネットセミナーやオンライン会議の開催、地元ラジオを活用した研修会の取り組み、参考図書の配布等、新たな研修事業に向けた取り組みが行われており、研修活動の更なる充実に取り組むものとする。

② 広報活動の充実

広報委員会を 8 月 9 日に開催し、広く県民・市民の方々に対する税の啓発・啓蒙、法人会の知名度向上を図るための広報施策について協議を行った。令和 4 年度の広報活動としては、新聞広報（全国紙のみに限定）のほか、すべての単位会より、テレビまたはラジオにご出演していただき、法人会の活動や税を考える主管について PR していただいた。また、15 秒 CM を地元 TV 局においてスポット CM として全 12 本放映した。

今後の広報活動のあり方として、これまで通りの新聞媒体や TV 媒体に頼った広報では、広報活動の成果の検証をすることが難しいことから、検証可能な媒体として Facebook や Instagram や Line などの SNS や YouTube などの活用について検討をし、更なる効果的な広報活動を展開していく。

２．会員増強・会員支援及び会員の福利厚生等に資する事業

（１） 会員増強活動の状況

会員増強活動については、法人会活動を充実させるためには組織基盤強化が重要であることから、組織・厚生合同委員会の開催など厚生委員会との連携を一層強化し会員数の増加に取り組んだ。その結果、令和 4 年 12 月末の会員数は、9,005 会員となり、対前

年 55 会員の増加で全国第 2 位という素晴らしい結果となった。なお、年間を通して会員数が増加したのは社団化以降初めてのことであり、全法連より会員増強に顕著な成果を挙げた県連として最優秀賞を受賞することとなった。中でも、下関法人会が 42 社、徳山周南法人会が 31 社の純増と山口県連の会員増強活動を大きく牽引していただいた。

（２） 福利厚生制度の推進

法人会の財政基盤をより強固なものにするために、福利厚生制度の推進は避けられず、とりわけ、令和３年に福利厚生制度創設 50 周年を迎えたことから、令和 3 年度と 4 年度の 2 年間にわたり「福利厚生制度創設 50 周年キャンペーン」が実施された。県連厚生委員会を中心として全会一丸となり協力３社との連携を一層強化した取り組みが展開され、その結果、「福利厚生制度創設 50 周年キャンペーン」の推進実績については、令和 4 年度の実績において、県連別目標達成率で全国第 3 位という素晴らしい実績となった。また全法連の福利厚生制度推進表彰の顕著な成果を挙げた県連に対する表彰において、大型総合保障制度の収入保険料において対前年 102.0%、大型総合保障制度への役員加入率部門では 76.5%と表彰を受彰するともに、高成績を長期間維持している県連部門においても例年に引き続き受彰する見通しである。

また、収入保険料が対前年１０３％以上と顕著な成果を挙げた単位会表彰においては、山口法人会、岩国法人会、徳山周南法人会、光・熊毛郡法人会、宇部法人会、長門法人会の 6 会が受彰する見通しである。

（３） 貸倒保証制度及び書籍・図書等販売委託事業

全法連において会員向け支援事業として推進されている貸倒保証制度の令和 4 年度の新規保険金額は、875,600 円であり、契約のあった２会（徳山周南法人会、防府法人会）に対して事務手数料として 18,666 円の支払いを行った。

書籍・図書等販売委託事業は、大蔵財務協会が販売する税のしるべ及び書籍販売に関する事務手数料と新日本法規出版㈱が販売する図書等の斡旋販売に関する事務手数料の取りまとめを行い、事務手数料として各会に総額 62,320 円の支払いを行った。

（４） 研修会・講演会等の開催

① 令和 4 年 6 月 22 日に、社団化 30 周年記念事業において、企業の活力ある経営についてお二人の講師をお招きし講演会を開催した。

開催日	令和 4 年 6 月 22 日（水）
場　所	山口グランドホテル
テーマ	『イノベーションを起こせ！』
講　師	佐々木 茂喜 様 （オタフクホールディングス(株)、代表取締役社長） 田澤 恵津子 様 （エシカルバンブー(株)、代表取締役社長）
受講者	127 名

講演会終了後、ご来賓として参加された村岡山口県知事にご講評をいただきました。

（５） 青年部会、女性部会の主催事業

法人会の主要事業である租税教育活動の中心部会として、青年部会では県内の 131 校（昨年度実績 113 校：+18 校)、204 クラス（昨年度実績 204 校：+18 クラス）で「租税

教室」が開催された。また財政健全化に向けた健康経営プロジェクトへの取組をテーマとして中国 5 県青連会長会議が広島市で開催され、各会青年部会長が参加され法人会版の健康経営プロジェクトの推進について議論が深められた。

女性部会においては「絵はがきコンクール」の実施を主要事業に、税の重要性について未来を担う子供達に伝える大きな役割を果たすとともに、情報交換を活発化させ租税教育に対する積極的な活動が展開された。また、令和 4 年度の税に関する絵はがきコンクールについては、各会女性部会員の皆様の熱心な取り組みの結果、県内の参加校数 186 校、応募作品は 5,273 作品と参加校数においては過去最高、応募作品も昨年度に引き続き 5,000 作品を超える応募となった。

青年部会及び女性部会の会員数は、青年部会 422 会員（対前年 2 会員の増加)、女性部会 368 会員（対前年 19 会員の減少）となっている。

（６） 女性部会連絡協議会主催事業

令和 4 年 8 月 25 日（木）に、第 14 回「租税教育活動シンポジウム」山口大会が山口法人会の主管で開催された。シンポジウムにおいては、銀座クラブ稲葉のオーナーママの白坂亜紀氏の講演、会員交流会が行われた。(参加者数 127 名)

令和 5 年 2 月 6 日（月）に開催された女性部会定時連絡協議会では、「絵はがきコンクール」の山口県代表作品の選出が、昨年に引き続き外部からの選考委員として、県内イラストレーターの方、また税務当局より税務広報広聴担当官の皆様に加わっていただき実施された。

（７） 青年部会連絡協議会主催事業

第 24 回「山口県青年の集い」防府大会が 9 月 2 日(金)、防府法人会青年部会の主管で開催された。東京 2020 パラリンピック女子マラソン金メダリストで下関市出身の道下美里氏を講師としてお招きして実施された「可能性は無限大～絆を信じて～」と題としたトークショーでは、参加者に実際にブラインド体験もしていただいた。また、租税教育アワーにおいては各単位会による租税教育の活動状況の発表会が行われた。

（参加者数　121 名）

（８） 会員向けサービスについて

法人会会員の皆様に向けた会員サービスとして、ＰＥＴ検診割引サービス、無料法律相談サービス、自主点検チェックシートの活用による金利優遇サービス等のサービスの提供が行われた。これからも、引き続き様々な観点に立ち、新たな会員向けサービスの展開を図るものとしている。

３．管理関係

（１）コロナ禍における Web 会議の開催

令和 4 年度も引き続き新型コロナウィルス感染症の影響を受ける中で、定期的に開催している中法連青連協会長会議や事務局会議、また厚生委員会の打ち合わせ等、web 会議を積極的に活用しており、高い出席率を維持できている。今後は、単位会事務局との打合せ等にも活用の場を広げていきたいと考えている。